

令和8年度 学校経営の方針

玉東町立玉東中学校

1 経営の基礎

教育関係諸法令に則り、熊本県教育委員会各課取組の方向及び玉名教育事務所教育指導の重点、玉東町教育目標等をうけ、生徒や地域の実態をふまえ、職員・生徒・保護者・地域・行政間の信頼を土台とした教育活動、学校経営を行う。今後の明るい未来を自分自身の力を基に幸福にするために、今・現在を努力する「今、一生懸命」を学校教育目標とした。前後裁断（ぜんごさいだん）前後ろを断ち切るという意味であり、過去を悔やんだり未来を心配したりせず、今この瞬間に全力を尽くすという禅宗の教えから学んだものである。次の三項目「・一点突破全面展開・はつきりと伝える力・やりぬく力」を育てたい資質・能力と定めた。生徒も教職員も生きがいを感じながら五者連携を重視した伝統ある玉東中学校の教育の充実を図る。

2 経営の方針

- ① 一人一人の人権を尊重し、いじめや不登校のない明るい学校をめざすとともに、道徳教育を推進し、心豊かでたくましく運動に親しむ活力ある生徒を育てる。
- ② 学習指導要領の趣旨を生かした教育課程を保護者・地域と連携して推進し、生徒一人一人の「生きる力」の向上に努める。
- ③ 玉東町教育目標の方針を基盤として、幼・保、小と連携して互いを認め合い、学ぶ楽しさを身につけた生徒を育てる。
- ④ 一人一人が「分かる授業」を実感できる指導方法を工夫し、家庭学習へと連動する「くまもとの学び推進プラン」の実践。
- ⑤ 全職員の協働体制のもと、チームの組織力を生かした働きがいのある職場づくりに努める。
- ⑥ 地域学校協働活動を見据えた、保護者や地域との連携及び地域とともにある学校づくりに努める。

3 教育目標

今、一生懸命

- 学習した事を、生活の中で生かす力のある生徒 『一点突破全面展開』
- 多様な個性を認め合い、大きな声で元気よく表現する生徒
『はつきりと伝える力』
- 状況を分析し、見通しをもって根気強くやり抜く生徒 『やり抜く力』

4 めざす教師像

- 教育愛に満ち、感性豊かな情熱ある教職員
- 職責を自覚し、先生に出会って良かったと思われる教職員
- チーム意識を持ち報告、連絡、相談ができる組織的感覚を持つ職員
- 地域から信頼され社会的人間力のある教職員

5 めざす生徒像

校
訓

- 誠実・・・学習した事を、生活の中で生かす力のある生徒
『一点突破全面展開』
- 創造・・・多様な個性を認め合い、大きな声で元気よく表現する生徒
『はつきりと伝える力』
- 努力・・・状況を分析し、見通しをもって根気強くやり抜く生徒
『やり抜く力』

6 育成をめざす資質・能力

- ・『一点突破全面展開』
- ・『はつきりと伝える力』
- ・『やり抜く力』

7 その他

- 玉東町は、令和7年度から学校部活動は、廃止した。地域展開クラブ活動を実施する。希望する中学校教職員と兼務任命をかけて実施。
- 令和8年度から、生徒の男女混合名簿を使用する。